

個別事業(取組)評価

事業No,	47	施策の柱への位置付け	柱⑧ 生涯学習の推進等による教育的風土づくり	
事業名称	県立図書館活動費		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	120,747(含繰越)
			補正後予算額(千円)	118,713
			決算額(千円)	117,974

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆【県立図書館の状況】 職員の更なる資質向上や市町村支援の充実が必要とされている。 ◆【市町村の読書環境状況】 慢性的な職員や資料費不足が続いており、市町村自らの読書環境の充実及び改善が困難である。 【要因】 ◆市町村支援を充実するため、県市合築の新図書館整備が予定されている。 ◆市町村財政の悪化により、図書館関係予算が減少している。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆【県立図書館の状況】 新図書館等複合施設整備基本計画でも県立図書館の役割として市町村支援の充実を挙げ、図書館職員の育成を図っている。 ◆【市町村の読書環境状況】 市町村支援で訪問した際に、市町村の読書環境や利用状況などを聞き取る中で把握している。
		イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 四国の公共図書館調査などで、職員数や予算を把握している。	
②	目標(Outcome)	① 市町村支援の充実 ・ 図書の直接貸出冊数を増加させる。 市町村立図書館 (住民1人平均2.8冊→3.0冊(対前年比7%増)) 公民館図書室 (38,767冊→42,000冊(対前年比8%増)) ② 県立図書館の環境充実 ・ 各種研修の実施や参加により職員の資質向上を図る。 ・ 外部機関との連携を図る。→新規連携先10機関を目指す。 【検証(比較)方法】 図書館統計資料による。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 昨年度の推移や聞き取りなどから具体的な目標を設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>) ① 市町村支援の充実 図書の直接貸出冊数 市町村立図書館(住民1人平均2.9冊)、公民館図書室51,900冊 ② 県立図書館の環境充実 ・ 移動図書館を利用したイベントの提案を行った。→8月に開催 58冊貸出 ・ 公民館図書室に県立図書館のコーナー設置を促した。→91冊貸出 ・ 職員研修の体系化を図った。 ・ 他機関との連携では18機関と新たに連携した。
		① 市町村支援の充実 ・ 図書館職員の資質向上を図るための研修開催(図書館サービス基礎研修5回、県図書館協会と共催のブロック研修6回) ・ 市町村向けの図書貸出の物流便配送回数増加(週1回から2回に) ・ 市町村立図書館等に対する日常的な支援(中央ブロックへの担当司書配置) ② 県立図書館環境の充実 ・ 体系的な研修の実施、県外研修への派遣 ・ 新館開館に向けた計画的な蔵書整備(新館開館時に開架スペースの半分程度を新刊とするため、本年度2万8千冊程度の図書購入) ・ サービス向上に向けた利用者アンケートの実施(8月) ・ 他図書館や各種団体との連携による企画展示や出前図書館の実施(年間15回)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ① 市町村支援の充実 ・ 体系化した職員研修に基づき、研修を実施した。 基礎研修3回 延べ85名、テーマ別研修2回 延べ68名、ブロック研修6回 延べ135名(図書館協会と共催) その他の研修10回開催 ・ 4月から物流の発送回数を週1回から週2回に増便した。 物流総冊数22年度→23年度 68,894冊→74,369冊 ・ 巡回訪問回数 中央ブロック 81回 その他 30回 支援依頼による訪問回数 23回 ・ 日常的な支援体制づくりについてはエリアを拡大して実施 ② 県立図書館環境の充実 ・ 県外研修に9回参加し、うち4回は報告会を開催して市町村職員と情報を共有した。 ・ 全集や専門書などを積極的に購入し、蔵書を充実させた。 ・ 8月9日～8月31日に行った利用者アンケートでは70人から回答があった。 ・ 関係機関や各種団体と、相談会や連携展示、出前図書館など50以上の共同事業を実施した。

総合評価と今後の方向	目標達成度 C 「No」を選択した項目 エ	【今後の方向】 新図書館として特に県立図書館が機能を発揮しなければいけないものについて、継続的に取り組み実現していく。 ・ 課題解決のためのサービスの充実 ・ 市町村支援の充実 ・ 人材育成 ・ 計画的な蔵書充実と未整理資料の整理
	【総合評価】 県立図書館のサービス向上(蔵書充実・課題解決のためのサービスへの取組やレファレンスへの対応力アップ)と、市町村立図書館等への支援充実(中央ブロック担当職員配置や体系的な研修の実施)など、新図書館の担うサービスの本格実施への実現に向けて取り組んだ。	